

# コミュニティグループガイド

## Community Group Guide



### 9 福音再考：ヨハネの福音書 シリーズ Re-Think the Gospel Series

#### 「いのちの水」

聖書には様々な人生ドラマが描かれていますが、この聖書もイエスと出会った一人の女性の人生が印象深く記されています。イエスとの出会いは、この女性の人生を新しく変えたように、私たちの人生も作り変えるものです。第2に、イエスとの対話によって彼女の人生の暗部が明らかにされて取り扱われたように、私たちもイエスの福音のメッセージによって悔い改めるようになります。さらにイエスを真に礼拝するようになる時に、私たちはいのちの水に満ちあふれるようになるのです。

#### 聖書：ヨハネ福音書 4章1-26節

4:1 イエスがヨハネよりも弟子を多くつくって、バプテスマを授けていることがパリサイ人の耳に入った。それを主が知られたとき、2—イエスご自身はバプテスマを授けておられたのではなく、弟子たちであったが—3主はユダヤを去って、またガリラヤへ行かれた。4しかし、サマリヤを通って行かなければならなかった。5それで主は、ヤコブがその子ヨセフに与えた地所に近いスカルというサマリヤの町に来られた。6そこにはヤコブの井戸があった。イエスは旅の疲れで、井戸のかたわらに腰をおろしておられた。時は第六時ごろであった。7ひとりのサマリヤの女が水をくみに来た。イエスは「わたしに水を飲ませてください」と言われた。8弟子たちは食物を買いに、町へ出かけていた。9そこで、そのサマリヤの女は言った。「あなたはユダヤ人なのに、どうしてサマリヤの女の私に、飲み水をお求めになるのですか。」—ユダヤ人はサマリヤ人とつきあいをしなかったからである—10イエスは答えて言われた。「もしあなたが神の賜物を知り、また、あなたに水を飲ませてくれと言う者がだれであるかを知っていたなら、あなたのほうでその人に求めたことでしょうか。そしてその人はあなたに生ける水を与えたことでしょうか。」11彼女は言った。「先生。あなたはくむ物を持っておいでにならず、この井戸は深いのです。その生ける水をどこから手にお入れになるのですか。12あなたは、私たちの父ヤコブよりも偉いのでしょうか。ヤコブは私たちにこの井戸を与え、彼自身も、彼の子たちも家畜も、この井戸から飲んだのです。」13イエスは答えて言われた。「この水を飲む者はだれでも、また渇きます。14しかし、わたしが与える水を飲む者はだれでも、決して渇くことはありません。わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠のいのちへの水がわき出ます。」15女はイエスに言った。「先生。私が渇くことがなく、もうここまでくみに来なくてもよいように、その水を私に下さい。」16イエスは彼女に言われた。「行って、あなたの夫をここに呼んで来なさい。」17女は答えて言った。「私には夫はありません。」イエスは言われた。「私には夫がないというのは、もっともです。18あなたには夫が五人あったが、今あなたといっしょにいるのは、あなたの夫ではないからです。あなたが言ったことはほんとうです。」19女は言った。「先生。あなたは預言者だと思います。20私たちの父祖たちはこの山で礼拝しましたが、あなたがたは、礼拝すべき場所はエルサレムだと言われます。」21イエスは彼女に言われた。「わたしの言うことを信じなさい。あなたがたが父を礼拝するのは、この山でもなく、エルサレムでもない、そういう時が来ます。22救いはユダヤ人から出るのですから、わたしたちは知って礼拝していますが、あなたがたは知らないで礼拝しています。23しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。24神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」25女はイエスに言った。「私は、キリストと呼ばれるメシヤの来られることを知っています。その方が来られるときには、いっさいのことを私たちに知らせてくださるでしょう。」26イエスは言われた。「あなたと話しているこのわたしがそれです。」

## 考えましょう

---

1. (5-7節) イエスとサマリヤの女の出会いについて考えてみましょう。女はイエスが語りかけたことに、驚きをもって応じています。それはなぜでしょうか？イエスが語りかけた人が女であったこと、サマリヤ人であったこと、離婚を繰り返したことなどから考えてみましょう。イエスはどのような壁を乗り越えているのでしょうか？
2. (10,13-14節) イエスはこの女に「いのちの水」が必要であると語っています。それはどのようなことを言っているのでしょうか？その水はイエスが与え、その人の内側で満ちあふれるようになる「永遠のいのちの水」です。(参考 ティム・ケラー)
3. (15-18節) サマリヤの女がいのちの水がほしいと言ったとき、イエスはなぜ彼女の結婚と離婚について言及したのでしょうか？それが彼女の人生の問題であったと考えられます。それはどのように扱われるべきでしょうか？
4. 私たちの間では、どのようなものが人生の満足や幸せを与えるものと考えられているのでしょうか？それらは本当に満足を与えることができるのでしょうか。
5. (23-24節) イエスのこのことばは礼拝の重要性を語っています。なぜなら、私たちが父なる神を聖霊とイエス(霊とまこと)によって礼拝しなければ、自分の人生のために他の何かを礼拝するようになるからです。このことについてあなたはどう思いますか？

## 読みましょう

---

### ティム・ケラー Tim Keller, Encounters with Jesus, p.27

イエスが言っているのは、あなたの外にはあなたの内にある深い渇きを真に満たすことのできるものは何もないということです。…そしてイエスは次のように言っています。「わたしがそれを与えます。わたしがあなたの内にそれを注ぎます。わたしがあなたに与えるのは、あなたの存在の核心にあって、あなたの外でどんなことが起ころうとも、どんな状況になろうとも、計り知ることのできないほどの絶対的な満足です。」

Jesus says there's nothing outside of you that can truly satisfy the thirst that is deep down inside you. ... And Jesus is saying, "I can give it. I can put it into you. I can give you absolute, unfathomable satisfaction in the core of your being regardless of what happens outside, regardless of circumstance."

## 祈りましょう

---

・イエスが私たちの様々な壁や差別や敵意にもかかわらず、愛をもって私たちと出会ってくださったことを感謝しましょう。聖霊の導きとイエスによって父なる神を礼拝するようになったことを喜び感謝しましょう。

・イエスから離れ、神を礼拝しないなら、別の何ものかを価値あるものとして重要視することになります。もしそうなら、私たちはそれによって支配され隷属することになります。そのようなものに気づくなら、悔い改めてイエスのもとに立ち返りましょう。

## 今週、来週のイベント

---

ランチタイムミーティング 17日(火) 赤坂、18日(水) 霞が関、19日(木) 大手町  
お弁当プロジェクト 21(土)

ヴィジョン・ミーティング 22日(日) 礼拝後 KDDIホール

グレースシティゴスペル 23(月)

ランチタイムミーティング 24(火) 神保町 25(水) 丸の内 26(木) 大手町

クロスロード・バイブルスタディ 3月1日(日) 1:30 - 2:45 KDDIホール ロビー